

和紙



おりおりの記

## 地方創生日本一周豪華フェリークルーズの旅

日本取引所グループ  
取締役会議長

木下 康司

東京発東京着10日間程度のクルーズ船に乗った。海外で船旅の経験はあるが、数日間全く寄港しないですっと海の上という旅は初めてだった。新しい発見がいくつもあった。まず外国船だったので乗客の半分は外国人でまるで外国のようだった。また、ずっと海の上においても退屈しないように、朝から晩まで、ダンス教室、ブリッジ講座、大小コンサート、各種アトラクション、プール、サウナ、マッサージ、美容室、図書館、カジノ、多種多様なバーやレストランがあり全く退屈しなかった。寄港地に着いても下船せず船でごろごろしている人も多かった。夜に何度かフォーマルウェア着用を求められるので男性は面倒くさがるが、女性はどんな年でもどんな派手な格好をしても不思議と違和感がないので大張り切りの美魔女だらけ。荷物の移動がないので体が不自由な人でも日本各地に行くのに便利ということで乗船している外国の老夫婦もいた。サウナで一緒だった関西の老人はクルーズ旅にはまってしまいもう6回目だそうだ。

要するに、提供されるサービスは高級有料老人ホームと類似する部分が多く、高級老人ホームが次々に開業していることを考えれば、今後クルーズに関心を持つ企業は増えるだろう。

そこで希望したいのは、日本各地を一周するフェリーの高級クルーズ船だ。思い切ってトラック

は載せず内外の余裕のある高齢者をターゲットにする。寄港地ごとにマイカーで周辺の観光地を1-2泊旅行できるように運航してほしい。

もちろん途中下船途中乗船は自由。ホームシックになったら下船して飛行機で帰京する。その時に車は東京で陸揚げしてもらい後で取りに行く。そうすれば、数年かけてツギハギ日本一周もできるのでありがたい。この船は1年中切れ目なく日本をグルグル回っていてほしいところだ。先ほどのクルーズ船の従業員に聞いたら6か月は乗り放しだそうだ。海外客や車のない人向けに船内でレンタカーも調達できると便利だ。キャンピングカーも何台かあるといい。寄港地の自治体と協力して地元料理や民謡、踊りを船内で楽しめたらうれしい。麻雀ルームや将来的にはカジノも…。名付けて「地方創生日本一周豪華フェリークルーズの旅」。どこかの会社がいずれチャレンジしてくれることを期待し、この旅を「マイ・バケツリスト」(死ぬまでにやっておきたいことのリスト)に入れておくことにした。

